


アレギサール鼻炎

⚠ 使用上の注意	解 説
<p>⊗ してはいけないこと (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)</p> <p>1. 次の人は服用しないでください。 (1) 本剤又は本剤の成分に対してアレルギー症状を起こしたことがある人。 (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。 (3) 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。 (4) 15才未満の小児。</p> <p>2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください。 他のアレルギー用薬(鼻炎用内服薬、皮膚疾患用薬を含む)</p> <p>3. 服用時は飲酒しないでください。</p>	<p>過去に本剤又は本剤の成分に対してアレルギー症状を経験したことのある人が服用すると、アレルギー反応があらわれるおそれがあります。</p> <p>妊婦又は妊娠していると思われる人に対する安全性は確立していません。</p> <p>動物実験(ラット)で乳汁中への移行が報告されています。授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。</p> <p>安全性に対する小児特有の懸念はありませんが、小児は症状を正確に伝えることが難しく、成人に比べかぜなどの感染による鼻炎に服用される可能性が高いため、本剤が一般用医薬品であることを踏まえて設定しました。</p> <p>他のアレルギー用薬(鼻炎用内服薬、皮膚疾患用薬を含む)と併用することにより、本剤の効果を正しく判断できなくなる可能性があります。</p> <p>一般的に薬剤とアルコールの併用は避けるべきと考えられるため記載しています。なお、本剤はアルコールとの相互作用はありません。</p>
<p> 相談すること</p> <p>1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。 (1) 医師の治療を受けている人。 (2) 高齢者。 (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。 (4) アレルギーによる症状か、他の原因による症状かはっきりしない人。</p>	<p>医師の治療を受けている人は、医師から何らかの薬剤の投与又は処置を受けており、自己判断で他の薬剤を服用することは、同種薬剤の重複投与や相互作用などを引き起こすおそれがありますので、医師に相談するようお勧めください。</p> <p>一般に高齢者では、腎・肝機能などの生理機能が低下していることが多く、薬剤の作用が強くあらわれることがあるので、服用前に医師等の専門家に相談することが必要です。</p> <p>人によっては配合成分や添加物でアレルギー症状を起こすおそれがあります。過去に薬や食品、化粧品等によるアレルギー症状の既往歴のある人は、薬物アレルギーを起こしやすいので注意が必要です。</p> <p>鼻炎症状には、他に「かぜ」などによるものが考えられるため注意が必要です。</p>

⚠ 使用上の注意

解 説

(5) 抗ヒスタミン薬を含有する内服薬(かぜ薬、鎮咳去痰薬、乗物酔い薬、催眠鎮静薬)を服用している人。

本剤は抗ヒスタミン薬と作用機序が異なっており、一緒に服用しても差し支えありませんが、鼻炎症状が他の原因(かぜなど)による可能性があるため、かぜ薬及び鎮咳去痰薬を服用している人は注意が必要です。また、抗ヒスタミン薬を有する乗物酔い薬と催眠鎮静薬も鼻炎症状を改善する可能性もあるため、必要以上の併用とならないようご指導ください。

(6) 次の診断を受けた人。
気管支ぜんそく

本剤と同一成分を含有する医療用医薬品は気管支ぜんそくの効能・効果を有しており、内容成分の重複投与になる可能性があります。また、医師の治療方針に影響を及ぼす可能性もあります。

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるため、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

医療用医薬品アレギサールの添付文書に記載されている主な副作用を使用者にわかりやすい表現で記載しています。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹、湿疹、じんましん、かゆみ
精神神経系	眠気、倦怠感、頭痛、頭がボーッとする
消 化 器	腹痛、胃もたれ感、下痢、便秘、食欲不振、胸やけ、吐き気・嘔吐、口のかわき、口内炎
肝 臓	全身のだるさ、皮膚や白目が黄色くなる
泌 尿 器	頻尿、血尿等の膀胱炎様症状
そ の 他	関節痛、鼻乾燥、鼻痛、むくみ、顔面のほてり、貧血

3. 2週間を超えて服用する場合は医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

花粉が飛散する1～2週間前から服用していても花粉飛散期にアレルギー症状が強くあらわれた場合や、すでに発現しているアレルギー症状に対して2週間服用していても症状が軽減されない場合は、医師、薬剤師又は登録販売者に相談の上で、鼻噴霧用ステロイドの追加、他のアレルギー性鼻炎用内服薬への変更など、治療内容をステップアップすることが必要となります。また、スギ花粉症シーズンは、かぜのシーズンと重なっていますので、他の原因(かぜなど)による症状の可能性もあるため、注意が必要です。

医療用医薬品「アレギサール錠5mg」の臨床試験、使用成績調査では、本剤の長期投与例における症状改善度と副作用発現状況から、長期投与での有効性・安全性が示唆されていますが、一般用医薬品は使用者が自己判断により服用するため、漫然と長期連用することは好ましくないと考えます。2週間位服用した後には一度医師、薬剤師又は登録販売者に相談し、効果と安全性を確認して頂くために設定しました。

〈用法・用量に関連する注意〉

(1) 花粉によるアレルギー症状に対して服用する場合は、花粉飛散開始の1～2週間前を目安に服用を開始することが望ましい。

本剤は継続服用することにより効果が高まるため、花粉症シーズン中の症状軽減を目的として、症状があらわれていなくても花粉飛散開始の1～2週間前を服用開始の目安にしています。

<p style="text-align: center;">⚠ 使用上の注意</p>	<p style="text-align: center;">解 説</p>
<p>(2) 本剤は効果があらわれるまでに1～2週間必要とすることがあります。</p> <p>(3) 錠剤の取り出し方 右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、1錠取り出してください。(誤ってそのまま服用すると、粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)</p> <div data-bbox="427 757 646 902" style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">押す</p> </div>	<p>本剤は臨床的に十分な効果が認められるには1～2週間の継続服用が必要です。ただし、一般用医薬品は使用者が自己判断により服用するため、漫然と長期連用することは好ましくないと考えます。2週間位服用した後には一度医師、薬剤師又は登録販売者に相談し、効果と安全性を確認して頂く必要があります。</p> <p>PTP包装から薬剤を取り出さずにそのまま飲み込んでしまい、食道粘膜に突き刺さってしまうなどの重大な誤飲事故が報告されています。このような誤飲を防ぐ目的で、注意喚起しています。</p>
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">保管及び取扱い上の注意</p> <p>(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。</p> <p>(2) 小児の手の届かない所に保管してください。</p> <p>(3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)</p> <p>(4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。</p>	<p>各々の製品により定められた保管条件を守らないと品質の劣化や期待する効果が得られない等の悪影響を及ぼすおそれがあります。</p> <p>小児の誤飲・誤用を防止するために注意喚起しています。</p> <p>他の容器に入れ替えると、入れ替えた薬剤が何であったか分からなくなったり、湿気、汚れ、光などにより薬剤の品質が保持できなくなるおそれがあります。</p> <p>使用期限とは、最終包装の形態で流通下における通常の保存条件(室温)下で保管された場合に、その性状や品質を保証できる期限です。 各製品毎に実施される安定性試験(原則として、最終包装製品を室温で保存)のデータに基づいて設定されています。</p>